

【保護者：アプリ配信】 【地域：回覧配付】



# 学校便り

佐渡市立金井小学校 令和7年1月30日 第10号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : kanai-es@sado.ed.jp

## 「しぐなす号」の思い出

校長 藤井 衛

能登半島地震から1年が経過しました。昨年1月1日、佐渡市でも大きな揺れを感じました。津波警報が発出され、一時、高台へと避難しました。校長として、その日のうちに校舎を見回り、被害状況を報告しなければなりません。幸い、金井小学校は無傷でした。教員生活も長いですが、1月1日から出勤したのは初めての経験でした。

帰宅後、テレビで大きな被害を受けた珠洲(すず)市の映像が流れていました。珠洲市で思い出したことがありました。「しぐなす号」のことです。私が子どものころ、佐渡の小木港と珠洲の飯田港を結ぶ航路がありました。最高時速120km、1時間25分という短時間で能登半島の先端まで行ける夢のような乗り物でした。ホバークラフトという乗り物で、水陸両用の乗り物だったと思います。爆音で波を巻き上げながら走る様子は、子ども心に鮮明に覚えています。南佐渡に住んでいた私は、何度か見学に行きました。当時から異様な乗り物で、名前の通り宇宙船のように見えました。

能登半島をめぐるのようですが、佐渡と似ている景色を多く見ることができます。本州では最後までトキが生息していた地域です。自然環境が佐渡と似ているので、トキを復活させようとする動きがあると聞いています。佐渡島の金山が世界文化遺産に登録され、観光業も潤ってきました。能登半島復興のためにも、航路が復活して、佐渡と能登との交流が活発になればいいのになあと思っています。

